

自然暦と環境口誦の世界

令和3年4月
下旬刊行！

野本寛一 著 A5判・上製カバー！352頁・口絵6頁／定価5720円（本体5200円＋税10%）

民俗学の泰斗が調査の折に聞きとりをして来た、例えば「岩木山の雪が兔の形になったら田植をする」と言った「自然暦」「環境口誦」を花・鳥・昆虫・雪・風・雲など分野別に整理、具体的な分析を行い、長年の研究をまとめた他に例を見ない畢生の力作。

（前略）第一次産業に深くかかわってきた多くの明治大正生まれの方々にお世話になった。様々なお教えをいただけてきた。その方々は、例えば、畑作・焼畑などについて語る時、播種適期についても、伐期についても、また、焼畑適地についてもごく自然に「自然暦」や「環境口誦句」を口にされた。彼らの自然観察の細かさや、自然と人為の連動の緊密性に感動し、心惹かれた。（中略）自然暦は山や海、田畑の生業にかかわる伝承だと思いきや、玉味噌の掻き込みや糍づくり、ドブロクの仕事にも自然暦があることを教えられ、季節循環に身を寄せて生きてきたこの国の人びとの生き方が心に沁み込んだ。（あとがきより）

目次

序章——自然のしるべと人の営み

(一) 自然暦／(二) 環境口誦

第I章 自然暦

- 一 花（しるべの花々／花とりどり）
- 二 木の葉（芽立ち／葉生い／色みと落葉／木の実）
- 三 生きもの（鳥／昆虫）
- 四 雪（雪形／冠雪）
- 五 指標となった人の営み（麦栽培／人為指標のさまざま）

第II章 環境口誦

気象

- 一 風（風と生業・生活／風に吹かれて）
 - 二 雪（多雪の兆象／雪代・雪崩）
 - 三 台風の予兆伝承
 - 四 雲
 - 五 雨
 - 六 雷
 - 七 霜と霧（霜／霧）
 - 八 水
 - 九 日々の天気予測
- 海象・天象
- 一 潮動と民俗
 - 二 月の盈虚と人為

諸象拾遺

- 一 地形・焼畑適地（戯れ唄に見る山のムラ／地形と日照／焼畑適地の伝承）
- 二 動物伝承
- 三 豊作・豊漁の予兆

第III章 旅途掌考

- 一 種糶に寄せて
 - 二 銚子大漁節
 - 三 社会変容の中で風化するもの
 - 四 水納島の環境と民俗
 - 五 「寒」の民俗
 - 六 白い花の譜
 - 七 しだれ桜と髻籠
- あとがき

◆著者紹介◆

野本寛一（のもと・かんいち）
一九三七年 静岡県に生まれる
一九五九年 國學院大學文学部卒業
二〇一五年 文化功労者／二〇一七年 端宝重光章
現在 近畿大学名誉教授
主要著書——『焼畑民俗文化論』雄山閣／『生態民俗学序説』白水社／『熊野山海民俗考』人文書院／『山地母源論1・日向山峡のムラから』岩田書院／『餅と餅—食の民俗構造を探る』岩波書店／『自然災害と民俗』森話社／『季節の民俗誌』玉川大学出版部／『民俗誌・女の一生—母性の力』文春新書／『神と自然の景観論—信仰環境を読む』講談社学術文庫／『採集民俗論』昭和堂／『食の民俗事典』編著 校風舎

注文はJRCへ FAX03(32964)2177

注文書

貴店印	注文数
大河書房	野本寛一 著
ISBN978-4-902417-43-2 C3039 ¥5200E	〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山2-10-13 TEL04222(43) 8755 FAX04222(43) 8755
自然暦と環境口誦の世界	定価5720円 (本体5200円+税10%)

大河書房

TEL0422-43-8755 FAX0422-43-8755
〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山2-10-13
E-mail:fuji-d@muc.biglobe.ne.jp